

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ小郡

|          |                                       | チェック項目   | はい   | いいえ                         | 工夫している点                                   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---------------------------------------|--|------|-----------------------------|---|--------------------------|
| 環境・体制整備  | 1                                     | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 2                                     | 職員の配置数は適切である   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 3                                     | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている   | 100% | 0%                          | ・環境設定など、個々のニーズに合わせ、調整している                 |                          |
|          | 4                                     | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている  | 100% | 0%                          |   |                          |
| 業務改善     | 5                                     | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している  | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 6                                     | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている  | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 7                                     | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 80%  | 20%                         |   |                          |
|          | 8                                     | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 0%   | 100%                        |   | ・外部評価については今後、検討していきたい    |
|          | 9                                     | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 100% | 0%                          |   |                          |
| 適切な支援の提供 | 10                                    | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 11                                    | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 12                                    | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 13                                    | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 14                                    | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 15                                    | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 100% | 0%                          | ・課題内容が同じでも、注目ポイントを変え工程に変化を加える等、その都度工夫している |                          |
|          | 16                                    | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 17                                    | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している   | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 18                                    | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している  | 100% | 0%                          |   |                          |
|          | 19                                    | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 100% | 0%                          |   |                          |
| 20       | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 100%   | 0%   | ・定期的に見直し修正することで、次の課題へつなげている |   |                          |

|              |  |  |      |  |                            |  |
|--------------|--|--|------|--|----------------------------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 21   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 22   | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 23   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                     | /    | /  |                            |  |
|              | 24   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                 | /    | /  |                            |  |
|              | 25   | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 100% | 0%   | ・こまめに情報共有を行いそれぞれの機関と共有している |  |
|              | 26   | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 27   | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている   | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 28   | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある   | 0%   | 100%   |                            |  |
|              | 29   | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 30   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | 100% | 0%   |                            |  |
| 31           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 80%  | 20%  | ・コロナ禍のため、外部講師を招いての集団研修等は行えなかったが、個別に対応をし、家族支援に努めている |                            |  |
| 保護者への説明責任等   | 32   | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 33   | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 34   | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 35   | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 36   | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 37   | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 38   | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 39   | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 100% | 0%   |                            |  |
|              | 40   | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 100% | 0%   | ・今年度はコロナ禍のため、地域方をお招き出来なかった |  |

|         |    |  |      |    |  |  |
|---------|----|--|------|----|--|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 100% | 0% |  |  |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 100% | 0% |  |  |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 100% | 0% |  |  |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 100% | 0% |  |  |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 100% | 0% |  |  |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 100% | 0% |  |  |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 100% | 0% |  |  |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ小郡

保護者等数(児童数) 37

回収数 37

割合 100%

|             | チェック項目  | はい   | どちらとも<br>いいない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた<br>対応   |
|-------------|---|------|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・<br>体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 92%  | 8%            | 0%  | 0%    | ・年中さん年長さんが大勢になると遊びのスペースが狭く感じます                                       | ・活動量に合わせ療育室や屋外を活用しつつ玩具の「共有」「共同」へと人と関わる力を伸ばしていきたいと思っています。 |
|             | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 97%  | 0%            | 3%  | 0%    | ・先生の数が増えた方が安全かなと思う時もあります   | ・保育士の人数が充実しており、利用人数の基準以上の職員配置をしておりますが、今後も安全管理に努めてまいります   |
|             | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |  |
|             | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |  |
| 適切な支援の提供    | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | ・保護者としてしっかり話し合いをしてくださって課題としたことうまく引き出して作成してくれている                      |  |
|             | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |  |
|             | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    |  |  |
|             | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか  | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |  |  |
|             | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 0%   | 0%            | 97% | 3%    |  |  |
| 保護者への説明等    | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |  |
|             | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |  |
|             | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか  | 91%  | 3%            | 3%  | 3%    | ・家庭での困りごとなどにも親身になって一緒に考えて下さりとても感謝しています                               |  |
|             | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | ・療育のない日でもLINEで質問や相談などによって頂き日頃から「相談できる場所」として心にあるのは嬉しい事です              |  |
|             | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    | ・面談ではないが対面や電話などでいつでも相談しやすい雰囲気です                                      |  |
|             | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  | 76%  | 14%           | 10% | 0%    | ・コロナの関係で出来なかったのが仕方ないけれど残念です<br>・コロナ渦で安全安心に通うことが出来ているので今の状態がベストだと思います |  |

|         |    |   |      |    |    |    |   |  |
|---------|----|---|------|----|----|----|---|--|
| 守       | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・相談事もその日のうちに必ず対応してくれる<br>・保護者側から相談等すれば確実に応じてもらえるのはありがたいが、先生が忙しいそうで声を掛けにくい時もあります | ・保護者様にお気遣い頂き申し訳ありません。いつでも相談対応をさせて頂いておりますが、もっと明確に相談対応が可能な時間を毎月掲示でお知らせし、保護者の方が自由に希望を出せるよう対応させていただきます |
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 100% | 0% | 0% | 0% |   |  |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 90%  | 5% | 0% | 5% |   |  |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 97%  | 3% | 0% | 0% |   |  |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。          | 94%  | 3% | 0% | 3% |   |  |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 92%  | 0% | 0% | 8% |   |  |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 97%  | 3% | 0% | 0% | ・親子共に楽しみにしています<br>・好きな玩具が見つかったりまた楽しく通園できるようになると思います                             |  |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 100% | 0% | 0% | 0% | ・親子共いつも色々支援して頂いて感謝しています<br>・就学前までなのが残念です。まだずっと通いたいです                            |  |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ

|          | チェック項目  | はい   | いいえ  | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|------|------|---|--------------------------|
| 環境・体制整備  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である   | 100% | 0%   | できるだけ空間を有効活用できるように柵の配置などを工夫している   |                          |
|          | 2 職員の配置数は適切である  | 100% | 0%   | 保育士の人数を十分に確保しており、利用者に合わせた職員配置をしている  |                          |
|          | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている  | 100% | 0%   | 遊びの部屋と活動の部屋を分けたり必要な情報を可視化し分かりやすい環境作りを心がけている   |                          |
|          | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている   | 100% | 0%   | 毎日のおもちゃの消毒に加え、随時清潔管理をし、手洗いの水温にも配慮をしている  |                          |
| 業務改善     | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している   | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている   | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                    | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている  | 0%   | 100% |   | 外部評価については今後検討していきたい      |
|          | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している   | 100% | 0%   | 可能な限り全員の職員が同じ研修を受けて共通の知識を得て資質向上の機会を持っている  |                          |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 100% | 0%   | 保護者のご意向に耳を傾けると同時に客観的に評価し課題の抽出を行っている<br>必要に応じて発達検査を行っている   |                          |
|          | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 100% | 0%   | 職員全員参加で活動を定める会議を行っている   |                          |
|          | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 100% | 0%   | 利用児それぞれの特性や理解度に合わせた活動プログラムを考えている  |                          |
|          | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している   | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している   | 100% | 0%   | 子どもの状況に応じてどの職員でも対応できるよう職員間で情報や対応方法を共有している   |                          |
|          | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している  | 100% | 0%   | 職員全員で気づきを話して情報を共有し、次の支援につなげるようにしている<br>上手いかなかったことは特にその日のうちになぜそうだったのか？どうすればよかったのかを職員全員で話し合うようにしている |                          |
|          | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 100% | 0%   |   |                          |
|          | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している  | 100% | 0%   |   |                          |

|              |    |  |      |      |   |  |
|--------------|----|--|------|------|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している  | 100% | 0%   |   |  |
|              | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 100% | 0%   | 子どもや保護者の状況や支援に必要な情報を共有するなど連携に努めている                                  |  |
|              | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている                         |      |      |   |  |
|              | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている                                     |      |      |   |  |
|              | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 100% | 0%   |   |  |
|              | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている  | 100% | 0%   |   |  |
|              | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている   | 100% | 0%   |   |  |
|              | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある   | 0%   | 100% | 幼稚園・保育園との併行利用が多いので交流の機会を特別設けてはいないが行事はきょうだい児も一緒に参加できるようにしている         |  |
|              | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している  | 100% | 0%   |   |  |
|              | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている   | 100% | 0%   | 活動の様子を写真で伝えたり、出来るようになったことや今後の課題についてその都度話をしている                       |  |
|              | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている   | 100% | 0%   | コロナ禍の為、外部講師による集団勉強会の開催は難しかったが、個別に対応をし家族支援に努めている                     |  |
| 保護者への説明責任等   | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 100% | 0%   |   |  |
|              | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 100% | 0%   |   |  |
|              | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 100% | 0%   | 日頃から家庭での様子や子育てでの困り感などの聞き取りができるように何気ない会話を大切にし保護者の方からも話がしやすい雰囲気心がけている |  |
|              | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 100% | 0%   |   |  |
|              | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 100% | 0%   |   |  |
|              | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 100% | 0%   |   |  |
|              | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 100% | 0%   |   |  |
|              | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 100% | 0%   |   |  |
|              | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 100% | 0%   | 日頃から近隣の住民の方々のご理解・ご協力をいただきながら運営している                                  |  |

|         |    |  |      |    |  |  |
|---------|----|--|------|----|--|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している        | 100% | 0% |  |  |
|         | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 100% | 0% |  |  |
|         | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 100% | 0% |  |  |
|         | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている                                       | 100% | 0% |  |  |
|         | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 100% | 0% | 法人の職員会議で各事業所での事例を挙げて共有している             |  |
|         | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 100% | 0% | 虐待防止の研修を受け、事業所内で伝達研修を行い全職員に周知するよう努めている |  |
|         | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 100% | 0% |  |  |

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 3月 1日

事業所名 しらさぎキッズ

保護者等数(児童数)35

回収数

35

割合

100%

|                  | チェック項目  | はい   | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた<br>対応    |
|------------------|---|------|---------------|-----|-------|--|-------------------|
| 環境・<br>体制整備      | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 91%  | 6%            | 0%  | 3%    |  |                   |
|                  | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 97%  | 3%            | 0%  | 0%    | ・遊ぶ部屋とあつまりなどの部屋はしっかり分かれているので、子どもに分かりやすい              |                   |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 94%  | 0%            | 0%  | 6%    | ・項目内容、支援内容を完璧に理解しているわけではないのでわからない                    | より丁寧に説明することを心がけます |
|                  | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか  | 91%  | 6%            | 3%  | 0%    | ・毎回違う内容なので、子どもが楽しみにしている                              |                   |
|                  | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 38%  | 18%           | 26% | 18%   | ・施設でのイベントとしてはないが、本人が園と併用しているので必要ない<br>・コロナで交流が難しくなった |                   |
| 保護               | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    |  |                   |
|                  | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか  | 68%  | 21%           | 0%  | 12%   | ・コロナ前は勉強会なども開催されていたので、勉強になった                         | 勉強会の開催方法を考えていきたい  |
|                  | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 100% | 0%            | 0%  | 0%    |  |                   |
|                  | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 97%  | 0%            | 0%  | 3%    | ・いつでも相談できる先生方なので、とてもありがたい                            |                   |

|         |    |   |     |     |     |     |  |  |
|---------|----|---|-----|-----|-----|-----|--|--|
| 者への説明等  | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   | 32% | 24% | 21% | 24% | ・他の保護者に話しかけるのに躊躇するので入園したときに自己紹介があると思う  | 保護者会等の設置はしていないが保護者同士で情報交換など気軽に話ができる場をつくれるようにしていきたい |
|         | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 91% | 3%  | 0%  | 6%  | ・まだそのような場面になったことがない<br>・先生によって見解意見が違う時、どうしたら良いか迷うので、その辺りの説明も合わせてしてもらえるとありがたい     | 職員間での認識の統一を図り対応していきます                              |
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 97% | 3%  | 0%  | 0%  |  |  |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか              | 65% | 6%  | 0%  | 29% |  |  |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか  | 88% | 3%  | 0%  | 9%  |  |  |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。          | 55% | 18% | 0%  | 27% |  |  |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか   | 52% | 18% | 0%  | 30% | ・避難訓練がある<br>・ダミーの消火訓練があると思う  | 訓練方法のパターンを考えたい                                     |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか  | 94% | 0%  | 0%  | 6%  | ・いつも楽しんで通っている<br>・大はしゃぎでとても喜んでい  |  |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか  | 97% | 3%  | 0%  | 0%  | ・大変満足している。悩んでいる方がいたら、薦めたい事業所<br>・親も楽しく参加している<br>・自由遊びが多いので、1枠別の事(プログラム)があるといいと思う |  |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。